

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 37

## 東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日  
例会日 毎週月曜日 12:30~  
例会場所 シェラトン都ホテル大阪  
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
TEL. 06(6772)2320  
FAX. 06(6772)2327  
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 佐藤 三千秋  
会長エレクト 百 濟 洋 一  
副会長 和田栗 一 良  
幹事 大 畑 齊  
会報委員長 宮 崎 康 治

## MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第1726回例会 平成21年5月25日(月曜日) 第37号

### 本日の例会

5月25日(月) 第3例会

- ◎ソング 「我等の生業」
- ◎卓話 「31年目のイニシャルスピーチ」  
(担当:尾崎弘昌会員)
- ◎本日の献立 松花堂弁当

### 次回の例会

6月1日(月) 第1例会

- ◎卓話 「サイクロン支援活動報告」  
ゲストスピーカー 江田 愛子様  
(担当:湯谷登来男会員)
- ◎本日の献立 軽食

### 先週の例会記録

5月14日(木) 第2例会

春の家族会(一泊二日)  
箱根宮ノ下温泉 武蔵野別館

### 会長挨拶

会長 佐藤三千秋

本日は移動例会です。ご参加の皆様並びにご家族の皆様、日頃は東大阪中央ロータリークラブの活動にご理解とご協力を賜わり、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今回は春の家族旅行ということで親睦委員会の

皆様のお世話により箱根まで連れてきて頂き誠に有難うございます。特に岩崎親睦委員長並びに浅野副委員長には手づくりの企画・計画をして頂き、盛沢山な企画で、かつゆっくりした旅行、また緑多い素晴らしい宿を満喫しております。今宵は素晴らしい料理と素晴らしい会員ご家族様と懇親を深めたいと思います。よろしくお願ひします。

本日の富士山も良かったですが、明日は天気ももっと良くなるということで、予定を変更して山梨県の方まで足を延ばして、ほうとうを味わい、素晴らしい富士山を再度じっくり見ようということになりました。皆様のお陰で手づくり旅行を楽しませて頂きます。有難うございます。



### 幹事報告

幹事 三木武志

1. 本日、春の家族会(移動例会)のため5月18日(月)は振替休会です。ご確認をお願い致します。

## 出席報告

本日の会員数	43名
本日の出席者数	9名
本日の出席規定適用免除会員	16名
本日の出席率	31.03%
4月27日の修正出席率	84.62%



### 明日のロータリーへのための仲間を増やす

#### 2009-10 全国会員増強セミナー開催

今年度、皆さまのクラブでは会員がどのくらい増えたでしょうか。残念ながら、減ってしまったとおっしゃるクラブもあると思います。

順調に増え続けていた日本の会員数が減り始めたのは、1997年のこと。当初は、「ロータリーの友」に載った数字を見て、「何かの間違いではないか」といった電話がかかってくることもありました。しかし、減り始めた会員数は、それから10年以上たった今でも上昇に転じることはありません。

存続について危機感をおもちのクラブもあることでしょう。昨年7月7日、日本の会員減少に危機感を抱いた国際ロータリー(RI)会長の李東建氏は、「会長増強」をテーマに開く今年度のRI会長主催会議を、日本からスタートしました。このときも、約1,200人という大勢のロータリアンが全国各地から集まり、熱心に成功事例に耳を傾けたり、グループ別の討議で意見交換をしたりしてい

ました。

さて、3月7日に横浜市で開催された「2009-10 全国会員増強セミナー」には、ガバナーエレクトをはじめ会員増強委員長など、71人が集まりました。第1セッションから第3セッションまで、それぞれのテーマ毎に、リーダーによる現況報告や問題提起、それを受けてのテーブルごとの討論、さらに発表とコメンテーターによるまとめと、密度の高い時間が過ぎていきました。

グループ討論は、各グループをロータリークラブと仮定し、会長、幹事を決めて、リーダーから提案されたテーマに沿って、討議が進められました。ここで出された会員を増やすためのアイデアをいくつか紹介しますと、「会費を安くする」「シニアをターゲットにモーニングクラブをつくる」「女性をターゲットにして新会員を探す」というものです。また、ロータリーのネットワークを活用するという事で、「一つの地域だけではなく、日本全国に目を向けて、ほかの地域に住むロータリアンからも友人を紹介してもらおう」という意見もありました。

一方で、「無理な会員増強をするべきではない」「増強のためにクラブが変わる必要があるのか」という意見も出ました。

また、問題を抱えるクラブという想定シナリオに沿って、そのクラブの会員になったつもりで「どのように問題に対処するのか」「どのような提案をするのか」について討議しました。さらに、「5年後のクラブの姿」についても考えました。

一連の議論の中で、新しい会員を増やすためのアイデアばかりでなく、現在の会員を維持すること、そのためには何をすればいいのかということも話題に上りました。その中では、「入会3年未満の退会が多いが、それは情報不足が最大の原因。また、会長経験者の退会も目立っているのだから、それらの方々を生かすように考えるべき」といった意見がありました。「家族を大事にするクラブ運営が必要」といった話もありました。

今回、この会議に出席して、会員増強にかかわる出席者の、会員の減少に関しての危機感、ロータリーに対する熱い思いを感じることができたことに合わせ、その3日後に予定していた座談会(本誌P5~10に掲載)のための、たくさんのアイデアをもらうことができました。

(ロータリーの友 5月号より)